

この夏、地域の人々の思いが実る

早通南小学校のプールが 無料開放に



8月1日から31日まで、早通南小学校のプールが、地域に無料開放されました。

これは地元有志の皆さんが、子供から大人まで楽しく交流のできる場を、と昨年の秋から市教育委員会や地元小中学校などに働き続けてきた結果です。

新潟市に接した、新興住宅地として急速に発展し、人口が1万人を超えた早通地域。地域を考えよう、子供たちの生活環境を考えよう、という地元の皆さんの切実な願いが形になりました。

開放されたプールの運営と責任は、すべて地域の皆さん。そこには責任ある地域の姿があります。

プールの利用者数は、主催者側の2,000人という予想をはるかに超えて、4,209人でした。子供たちのほじける笑顔と、和やかな大人たちの語らいが、青い青い空の下にありました。

プールサイドインタビュー

Voice 小学六年生の 三人組

・泳ぎが上手になりたい

友達と何度も来ています。無料でいつでも来れるってところがいい。それにプールが家から近くで、みんなと泳いでいても楽しい。学校だから安心もできます。

泳ぎがうまくなりたいので、泳ぎのうまい人を見て、みんなで練習をしています。最近、平泳ぎとかバタフライなんかもできるようになりました。で

きただけきれいに泳ぎたい。

・監視員の大人は大変

早通地域の大人たちが頑張って、夏休みにプールで、だれも泳げるようになったと学校で聞きました。とてもうれしかった。毎日、プールにかよっていると監視員の大人たちは大変だなあ、と思います。私の家からプールや監視員の姿が見えるんです。泳いでいる人たちはいいけど、監視員は暑そう。

これからも毎日プールに来たい。友達と一緒にいられるし、泳ぎももっと上手になりたい。十分の休憩時間は長すぎるような気がします。



早通南小学校6年生

Voice 新興住宅地には、 今の姿のプール開放が必要

プールサイドインタビュー



田中 秀一さん
46歳
須戸5丁目

小学生の子供たちを連れて来ました。今日で二回目です。プール開放はいいですね。家の近くでしかも無料です。私たちの子供時代と違って、家族サービスは、ちょっとしたレジャー施設やキャンプ場に子供たちを連れていかないと、子供たちはなかなか納得してくれません。このプール開放は、そんな今の子供たちの楽しみ方を満足させてくれているようです。

プールの開放は、早通地域の人々の交流の場としてあるようです。それをここに来ではじめて知りました。いいことだと思います。昔は隣の家に猫が生まれても分かった時代です。それだけ隣近所、地域の結びつきが強かったといえます。今の子供たちの姿を見ると、昔のような地域環境が必要ですね。私は今の新興住宅地に越して来て五年目ですけど、そういう意味でも、プールの開放は有り難いですね。